

冬季特有の労働災害を撲滅しましょう！

～ 冬季における労働災害防止について～

例年、冬季間には積雪や凍結路面、寒冷等を原因とする転倒・墜落・交通事故・一酸化炭素中毒等のいわゆる冬季特有の労働災害が多発します。

本格的な冬を迎える前に、それぞれの労働災害の発生状況・対策を確認し、冬季特有の労働災害防止対策を講じましょう！

【転倒災害】

時期や業種に関わらず、年間を通して最も多い災害です。

また、休業日数が長くなりやすいことも特徴です。

特に冬季においては転倒の要因(積雪・凍結など)が増えるため、十分な対策が必要です。それでは、過去の労働災害事例を見てみましょう。



発生地	業種	発生月 (発生時間)	発生状況 (傷病名、休業期間)
佐渡市 金井	製造業	1月 (午前8時)	始業準備中、工場内の路面が凍結しており、誤って足を滑らせ転倒した。 (右足首骨折、休業3か月)
佐渡市 窪田	小売業	1月 (午前6時)	会社の玄関前帯が凍結しており、周りも暗く凍結していると気づかず、足を滑らせ仰向けに転倒した。(腰部等打撲、休業7日)
佐渡市 両津	運送業	2月 (午前10時)	宅配業務の際、玄関先タイルが凍結しており、右足が滑ったので踏ん張ったが前方に滑り足首を捻った。(足首骨折、休業3か月)

～ 対策～ 確認しましょう！

✓除雪方法は。。

- ・通路や作業面の除雪を励行し、凍結防止対策(融雪剤、砂の散布等)を講じましょう。
- ・建物の出入口には、雪などを除去するためのマット等を備えましょう。



✓履物は。。

- ・滑り止めが備わった安全靴や長靴を着用しましょう。



滑り止め付き！

✓歩き方は。。

- ・ポケットに手を入れたまま歩かない。
- ・小さな歩幅で歩きましょう。

急がず



✓情報共有は。。

- ・事業場敷地内、駐車場、出入口等の滑りやすい場所を確認しましょう。
- ・「危険マップ」を作成する等により労働者に周知しましょう。



STOP! 転倒災害プロジェクト

STOP 転倒災害

検索



新潟労働局 佐渡労働基準監督署

【一酸化炭素中毒】

燃焼時に酸素が不足する場合、不完全燃焼を起こすことがあります。その際に発生する一酸化炭素(CO)を吸い込むことで発症します。

冬季においては、屋内作業場で暖をとるためにヒーター等を使用し、換気が不十分であることにより不完全燃焼の状態になりやすいです。

初期症状は顔の火照り感や頭痛ですが、一定の高濃度に達すると意識消失、最悪の場合は死に至ります。



発生地	業種	発生月 (発生時間)	発生状況 (休業期間)
佐渡市 佐和田	建設業	12月 (午後4時)	建物内部のコンクリート壁等撤去作業にあたり、ブレーカや発電機を用いて作業を行っていたとき、作業員が体調不良を訴えた。診断の結果、急性一酸化炭素中毒であった。 自然換気が不十分な場所での内燃機関を有する機械の使用が発生原因と推定される。(休業1日)

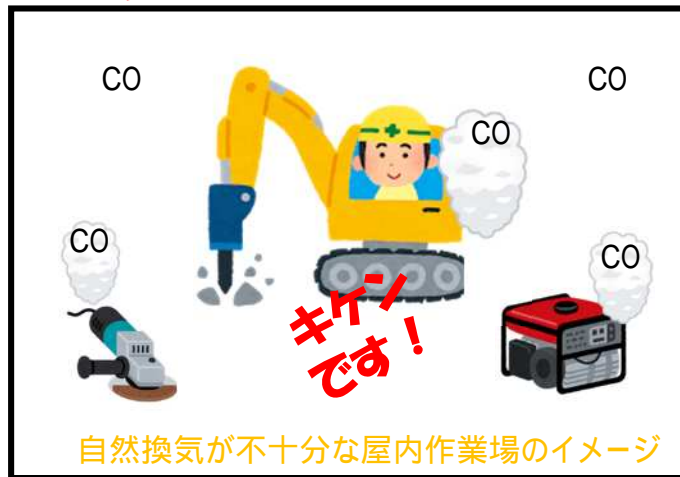
～対策～ 確認しましょう！

✓十分な換気を行
いましょう！



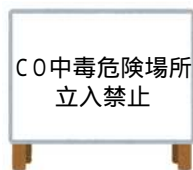
・右のような自然換気が不十分な屋内作業場においては、内燃機関を有する機械は使用しない。

・やむを得ず使用するときは、一酸化炭素濃度を継続的に測定し、作業環境を監視しましょう。



自然換気が不十分な屋内作業場のイメージ

✓関係場所入口等に「一酸化炭素中毒危険場所立入禁止」等の表示を行いましょ！



✓暖房器具等の定期的な点検・清掃を行いましょ！

✓関係労働者に対し安全衛生教育を実施しましょ！



・一酸化炭素中毒の発生状況・症状・防止の重要性
・換気設備の使用方法及び呼吸用保護具等の使用方法
・緊急時の対応(避難訓練、2次災害防止対策、救出時の対応など)

【新潟県内の事業場における冬季特有の死亡災害事例】

発生地	業種	発生年月 (発生時間)	事故の型	発生状況
新潟県	建設業	平成26年 1月 (午前10時)	はさまれ ・ 巻き込まれ	除雪車のロータリー部を回転させたまま停車させ運転席を離れ、再び運転席に座ろうとしたとき、走行レバーに触れてしまい、前進した除雪車のロータリー部近くにいた作業員が巻き込まれた。(1名死亡)
新潟県	建設業	平成22年 1月 (午前9時)	一酸化炭素中毒	除雪作業の待機中、駐車場の自車内にてエンジンをかけたまま休憩していたところ、排気ガスが逆流し、一酸化炭素中毒により死亡した。(1名死亡)